

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [経営対策活動](#) | [企業・民主的労働組合の意識転換を!](#) ⑤
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[🔍 キーワード検索はこちら](#)

企業・民主的労働組合の意識転換を! ⑤

5. 社員（組合員）教育の徹底を。

事業のグローバル化、スピードアップ、競争の激化は、労使の「ゆとり」を失くし、より以上の効率性の追求により、企業教育は、事業直結の技術・技能教育が大勢となっている。勿論、この種の教育は必要であり、おろそかにはできない。

しかし、「技術や技能」の基盤となる（従業員）人間性に関する教養や社会のあり様と、社会運営に直結している政治教育などは皆無と言っていいほどである。

ところが今日、事業活動や仕事そのものの領域が拡大し、社会的・政治的なアプローチをしなければ業務が進行しない状況が一般者にも言える状況にある。

単に仕事に直結した技術・技能の教育のみでは、業務の創造・伸長を見込むことが出来ない。その元になる人間の価値観や人間としてのあるべき姿など、左翼思想への対処のみではなく、より広い視野で、職業人としてのものの見方や政治経済社会への対処方法を身に付けることが必要で、その必要性は高くなっている。

民主化闘争の歴史と教訓は継承・伝承されず、ほころびはじめているのでは危惧している。

民主的労働組合にも言えることである。労働組合は社会のあり様に翻弄された歴史を持っており、その分、政治や社会問題には敏感な面があるが、それでも近年は、労働運動の歴史や労働組合の理念など運動・活動の基盤を良く知らないリーダーが見受けられる。

やはり、労働運動の歴史の伝承・継承をおろそかにしている側面がある。

これでは、左翼の理念との違いや政策の相違など理解できず、左翼の言動が正しいものより良い政策と映り、左翼に扇動されてしまう。このような危険性もある。

人材育成は、幾代にもわたってたゆまなくやらなければならない事業である。

平和で、組織が健全で常態化しているなかで行う人間性教育こそ価値は高まる。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>> 一覧へ戻る](#)

